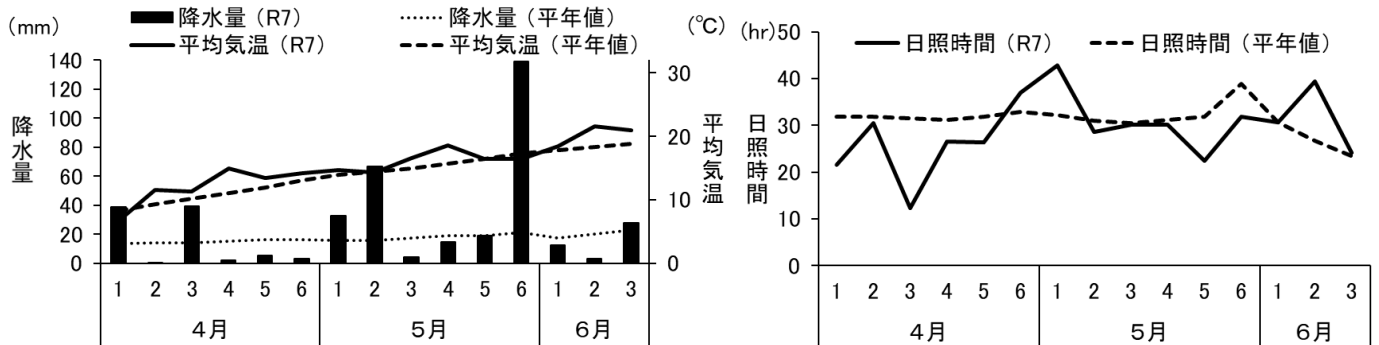


仙台稲作情報 2025 (第3号)

宮城県仙台農業改良普及センター TEL: 022-275-8410 FAX: 022-275-0296
<http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai> E-mail: sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

- ▷ 目標茎数確保を確認して、中干しを実施しましょう。
 ▷ 気温が高くなる見込みなので、適正な水管理を心がけましょう。
 ▷ 水田内や畦畔等の雑草防除を徹底し、斑点米カメムシ類の被害を防止しましょう。

1 気象経過



- ・ 6月上旬の平均気温は概ね平年より高く推移しました。
- ・ 6月上旬は、降水量が少ないから平年並で推移しており、日照時間も多から平年並でした。

2 管内の生育状況（6月20日現在）

（1）移植栽培（ひとめぼれ）

草丈の管内平均値は 33.7 cm（平年比 91%、前年比 87%）、葉色は 41.9（平年差 -1.2、前年差 -0.9）でいずれもほぼ平年並の状況です。茎数は 250 本/m²（平年比 78%、前年比 73%）で平年よりやや少ない状況となっています。

表1 6月20日の調査結果（管内）

品種	地帯	場所	田植日	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉色値 (GM値)		
				本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市宮城野区	5/22	33.8	91	95	226	109	105	41.0	-0.5	-0.3
	北部平坦	大郷町鶉崎	5/18	33.7	83	88	302	63	71	42.4	-1.7	-2.6
	西部丘陵	仙台市泉区	5/11	33.5	-	-	224	-	-	42.3	-	-
	管内平均			33.7	87	91	250	73	78	41.9	-0.9	-1.2
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/13	40.3	115	109	321	104	105	41.9	+0.6	+0.5
にじのきらめき	北部平坦	大郷町鶉崎土橋	5/22	33.6	-	-	251	-	-	34.7	-	-

※平年比の計算は、直近3か年の平均値を使用。仙台市泉区ひとめぼれ、大郷町土橋にじのきらめきは、今年から調査しているため平年値なし。

表2 品種別生育調査結果（県内32地点）

品種	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉色値 (GM値)		
	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	37.0	97	99	336	89	94	43.1	-0.3	-0.4
ササニシキ	37.3	104	105	389	101	89	41.0	-0.7	-0.9
つや姫	39.5	99	106	307	83	92	42.9	+0.3	-1.0

※県内32地点の平均値（ひとめぼれ18地点、ササニシキ6地点、つや姫8地点、古川農業試験場3地点、仙台含む）

(2) 乾田直播栽培

慣行ササニシキの草丈は 28.2cm、茎数は 326 本/m²、葉色は 33.1 で、概ね順調な生育となっています。県認証基準ササニシキでは、草丈 32.8 cm、茎数 396 本/m²、葉色 34.4 で慣行と遜色ない生育状況を維持しています。

表 3 6 月 20 日の調査結果（管内 乾田直播栽培）

品種	地帯	場所	播種日	苗立数 (本/m ²)	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉色値 (GM値)		
					本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
ササニシキ (慣行)	仙台湾沿岸	仙台市若林区	4/25	210.0	28.2	76	76	326	85	71	33.1	+3.5	-2.9
ササニシキ (県認証基準)	仙台湾沿岸	仙台市若林区	4/25	170.7	32.8	-	-	396	-	-	34.4	-	-

苗立数調査：慣行…5 月 23 日、県認証基準…5 月 26 日

※県認証基準ササニシキは、今年から調査を開始したため平年値なし

3 本田管理

移植栽培

(1) 水管理

- ・高温が続くと分げつが旺盛になり茎数が過剰になることがあります。籾数の適正化と登熟向上のため、**分げつが旺盛な時は深水管理をして茎数を抑制しましょう。**
- ・分げつの増加が緩慢なほ場では、目標茎数の確保が平年より遅れる可能性があります。**生育が遅れている場合は浅水管理により茎数の確保に努めましょう。**
- ・**自然落水したまま田面が露出しているほ場が散見されます。**こまめに見回りを行い入水するなど、適切な水管理をしましょう。

(2) 中干し

- ・中干しは、「土壌に酸素を供給し、根の活力を向上させる」「無効分げつの発生を抑制し、葉の受光姿勢を良くする」「作土層の硬化を促進し、倒伏軽減や秋作業を楽にする」等の効果があります。
- ・**目標茎数を確保したら早めに実施しましょう。**1 m²当たりの茎数を確認する方法は、表 4 を参考にしてください。
- ・中干しの期間は 7～10 日間程度で、田面に小さな亀裂が入り軽く足跡がつく程度とします。水はけの悪い水田や大区画水田では、排水をしやすくするために溝切りを行いましょう。

表 4 ほ場 1 m²当たりの茎数を確認する方法

株当たり 平均茎数	1 m ² 当たり茎数 (本)		
	坪 70 株植え (21.2 株/m ²)	坪 60 株植え (18.2 株/m ²)	坪 50 株植え (15.2 株/m ²)
20 本	424 本	364 本	304 本
24 本	509 本	437 本	365 本
28 本	594 本	510 本	426 本

生育が中庸な連続 10 株程度の茎数を数えて「株当たり平均茎数」を計算すると、表 3 から「1 m²当たり茎数」を求めることができます。「株当たり平均茎数」が 20 本とすると、坪 70 株植えの場合、「1 m²当たり茎数」は 424 本となります。

出穂期までの目標茎数(m²当たり)

- ・ひとめぼれ 410 本～460 本
- ・ササニシキ 480 本～510 本
- ・つや姫 430 本～470 本
- ・だて正夢 350 本～400 本
- ・金のいぶき 440 本～490 本
- ・まなむすめ 390 本～440 本

(3) 病虫害防除

① いもち病

- ・補植用残苗は直ちに処分し、いもち病を確認した場合は、本田での発生に注意しましょう。

- ・箱施用剤で予防防除を行っても発病が見られた場合は、速やかに茎葉散布剤で防除しましょう。
- ・箱処理剤を使用していない場合は、6月中下旬に水面施用剤などによる予防防除を行きましょう。
- ・BLASTAM（ブラスタム）で葉いもちの感染好適条件の出現を確認することができます。ほ場の見回りに活用し、早期発見・早期防除に努めましょう。

※BLASTAMは病害虫防除所のサイト <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html> を参照

② 斑点米カメムシ類

- ・水田内のヒエやホタルイ等の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類を水田内に呼び寄せる原因となります。雑草の種類と葉齢を確認の上薬剤を選定し、7月上旬頃までに防除しましょう。
- ・斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、稲の出穂 15～10 日前（7月中旬）までに休耕田や土手、畦畔等の草刈りを徹底し、雑草が出穂しないように管理しましょう。

乾田直播栽培

（1）水管理

- ・乾田直播栽培では移植栽培よりやや減水しやすいため、稲の草丈が 10cm 以上となったら、水深 5 cm 程度を目安に管理しましょう。
- ・目標茎数を確保した後は「飽水管理」の実施も有効です。

【飽水管理の方法】

- ※飽水管理…地表に水はないが、土壌には足跡や溝に溜まる程度に水が含まれている状態で管理すること。
- ・水田の足跡に水が無くなったなら入水し、表土が十分に湿ったら落水します。稲体強化、根の活力維持の効果が期待できます。
 - ・実施期間は出穂期までとします。
 - ・入水及び落水を速やかに実施できるように、溝切りを必ず実施しましょう。

（2）雑草防除

- ・水田を見回って雑草の発生状況を確認し、雑草が小さいうちに除草剤を散布しましょう。除草剤の選定に当たっては、雑草の種類や葉齢、使用時期（「ノビエ〇葉期まで」、「稲〇葉期以降」等）を確認し、適正に使用しましょう。

4 東北地方の向こう 1 か月の天候の見通し（6/19 仙台管区气象台発表）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- 高温に関する早期天候情報が発表されており 25 日頃から気温がかなり高くなる見込みです。
- 太平洋高気圧に覆われやすいため、向こう 1 か月の日照時間は平年並か多いでしょう。

◇熱中症に気を付けて安全な農作業を心がけましょう！

- ・暑さを避ける…高温時の作業は極力避けましょう
- ・こまめな休憩と水分補給…水分補給は喉の渇きを感じる前に
- ・単独作業は避ける…複数名で作業を行い、連絡を取り合いましょう
- ・熱中症対策アイテムの活用…帽子や吸湿速乾性の衣服、空調服などを活用しましょう

■宮城県農薬危害防止運動実施中（6月1日～8月31日）

- ・ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認しましょう。
- ・散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょう。

次回の稲作情報第 4 号は、7 月 1 日に実施する生育調査の結果をもとに 7 月 3 日頃の発行となります。